

第3回 葛飾区地域公共交通活性化協議会 議事概要

日 時	令和7年10月15日（水） 10:00～11:00
会 場	葛飾区男女平等推進センター（ウィメンズパル） 多目的ホール
出席者	別紙「第3回葛飾区地域公共交通活性化協議会 出席者名簿」のとおり
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者	2人
配付資料	資料1 委員名簿 資料2 葛飾区地域公共交通活性化協議会設置要綱 資料3 葛飾区地域公共交通活性化協議会の会議の公開に関する取扱要領 資料4 葛飾区地域公共交通活性化協議会について 資料5－1 （仮称）葛飾区地域公共交通計画素案（案）概要版 資料5－2 （仮称）葛飾区地域公共交通計画素案（案） 資料6－1 小型車両活用デマンド交通「かつライド」の実証運行について 資料6－2 かつライドリーフレット 資料6－3 かつライド利用申込書 参考資料 葛父母だより
会議次第	1 開会 2 委員委嘱・紹介 3 議事 （1）【協議事項】地域公共交通計画素案（案）について （2）【報告事項】小型車両活用デマンド交通「かつライド」の実証運行について 4 その他 5 閉会

議事進行及び発言概要

次第 1 開会

事務局より挨拶、傍聴の決定。

次第 2 委員委嘱・紹介

資料 1「葛飾区地域公共交通活性化協議会委員名簿」によって代える。

次第 3 議事（1）

資料 5—1、2 地域公共交通計画素案（案）について

<質疑応答>

- 会 長 今会議では、示された素案（案）を協議にかけることになるが、今後の策定までのスケジュールを改めて確認したい。
- 事務局 本日のご意見を踏まえて必要な修正があれば修正を加え素案としてまとめ、11 月中頃にパブリックコメントを実施する予定である。そこで、区民の方からも広く意見をいただければと思っている。それを素案から案という形でブラッシュアップして、年度末の活性化協議会でもう一度お諮りした上で、策定と考えている。
- 会 長 パブリックコメントに向けて、素案として公表される前に合意をいただくことなので、委員の皆様には内容をよくご確認いただき、ご意見をいただきたい。
- 委 員 施策の中で、バス停のベンチ・上屋の整備に関して案が示されていたが、ぜひ進めてもらいたい。

地域の町会から、高齢者が多くてバス停で待つのは辛いので、椅子を用意してほしいと言われたことがある。ただ、自分たちでの管理ができないということで整備できず区に相談したこともあるが、最終的にはバス事業者が整備するというのでそのまま話が立ち消えになった。本施策は実施主体が葛飾区とバス事業者となっているので、担当をはっきり示し、早急に対応していただきたい。

バス停のベンチで例を挙げると、歩道幅にも支障がないような環境にも関わらず、一部のバス停留所には折り畳み式のベンチが整備されているが、その前後のバス停にはベンチが整備されていないような場所がある。公平な整備を検討していただきたい。

- 委 員 バス運転手確保の取組として、女性乗務員環境整備事例が掲載されている。これまで都市整備や公共交通分野の業種では女性が働くことが少なかった仕事が多いと思う。特にトイレの環境に関しては、女性労働者本人が声を出すことに勇気がいるので、次世代の女性労働者のためにも、事前に働きやすい環境を整備していただけることを希望する。

障害がある方等の移動制約者に対する交通手段確保の検討が新規掲載されていることを嬉しく思う。また、以前の地域公共交通会議で学生等の若い方の声を汲んでほしいという発言をして、資料編に都立高校生を対象としたアンケート調査が記載されていて嬉しく思った。

しかし、アンケートの調査対象が普通校に限定されている。区内には水元小合学園や特別支援学校、ろう盲学校があり、公共交通を利用して通学している生徒や卒

業後も通勤手段として公共交通機関を利用する生徒たちがいるということを知っていただきたい。彼らが通勤通学に困ることがないようにと願う。

○ 会 長 女性の進出、障害者の支援について、重要な指摘をいただいた。素案（案）にも記載はあるが、もう少し書き込めるものは書き込んでいただけたらと思う。支援学校へのヒアリングもできるのであればしていただけたらと思う。

○ 委 員 バス停留所の整備に関して、自身は免許を返納し、自転車の運転もやめたことからバスを利用するが、上屋・ベンチがないことが深刻である。場所によっては、20分に1本しかバスが来ないこともある。今夏も猛暑の影響で、バス待機中に倒れた方も目の当たりにした。シニアに対する施策としてバス停についてはあまり考慮されていないので、早急に対応していただきたい。

○ 会 長 広告付きバス停等の活用も検討しながら実現していただきたい。また、計画に書き込めるところは書き込んでいただきたい。

資料 5-1 の総合的な KPI のうち、自動車の公共交通分担率と記載があるが、交通分担率に修正をお願いしたい。総合的な KPI として積極的な指標をあげていただいたと思うが、自動車を減らすという点が前段にほとんどない。方針か目標の中に含まれると評価指標（KPI）として意義深いものになると思う。

○ 事務局 評価指標（KPI）として掲げたものを KPI の部分だけではなく、他のところにも繋がる記載内容をどこかに書き込んでいきたい。

○ 会 長 私も考えたいと思う。

○ 副会長 特に大きな修正はなく大変良く出来ていると思う。

修正を検討していただきたい点としては、評価指標（KPI）や目標値の示し方で、上の方に区が実施したことに対する成果を書き、下にそれにより得られた成果という並べ方をしてはどうか。区で意思を持って数値を増やすことができる施策を先に記し、それによってどのように変わったのかを記すと、見やすく分かりやすくなるかと思うので、記載順の修正を検討いただければと思う。

○ 会 長 分かりやすさも重要かと思うので、記載方法を検討いただければと思う。

○ 委 員 葛飾区のバス乗務員の確保に対する支援について、感謝を申し上げたい。女性運転手の就業環境整備について、先ほどご意見があったが、LGBTQ の方々も実際にいるので多様性の時代に対応する施設整備に関する支援についても検討いただきたい。

また、バス乗務員の採用について、カスタマー・ハラスメントへの対応も必要な項目だと思っている。バスのやむを得ない遅延に対し、乗客が怒鳴るといったことが要因となり、退職する運転手が多いので、その項目にもう少し触れていただきたい。

環境型配慮車両について、EV バスでは車両の問題や走行距離、充電施設について課題があるので慎重に考えていただきたい。冬場は 100km 走れるかどうかというのが現実である。運転手の休憩時間などを活用して充電しているが、残量を気にしながら走行している。車両が増えていけば充電施設も相応に必要になる。水素バスについても、ステーションの維持管理費、燃料の費用面が課題で導入のハードルが高い。今後区と事業者で相談しながら進めていただきたい。

自動運転については、新金線も含めて考えていくのかと思っているが、レベル2（運転の主体はドライバー、システムは運転支援を行う）での事故事例で、運転手は回避作業をしたものの、システムエラーで結果的に事故が防げなかった事例がある。

新金線の BRT 構想が報道されたところだが、自動運転を検討される場合は、専用軌道においてレベル4（限定領域内での全自動運転）の導入を目指していただきたい。

- 会 長 ご意見にあった施策については、素案（案）にも少しずつ記載しているが、分かりやすい形でもう少し記されるとよいと思う。

通常の地域公共交通計画の中に道路、自転車のことがここまで盛り込まれているのは珍しい。バス走行環境を確保しようという動きや、自動車を減らすという評価指標（KPI）も他の地域の計画では見られないため、実現に向けて政策展開をできるものになればと思う。

- 委 員 目標①（鉄道駅間をつなぐ幹線交通（南北交通）のサービス向上）について、区で運行本数の目標を掲げるということだが、一バス事業者として、運行計画を定めるダイヤを作成しており、これまでその都度乗客の利用状況や安全運行に必要な対応をしてきた。その中で増便や減便を行ってきたので、運行本数を縛られるという目標値について意見させていただいた。

- 会 長 この点は目標としており、実現に向けては事業者と協議をしていきながらとなると思うが、事務局としていかがか。

- 事務局 ダイヤに踏み込む目標でナーバスなところはあると重々承知している。一方で、行政としては、区民や利用者の立場に立った考え方を示す必要もあるので、このような目標設定になっている。しかしながら、行政が一方的に強要するのではなく、事業者の経営状況や利用者の利用状況を鑑みた上での目標設定となりうるものだと思っている。達成しなければ行政として納得できないというつもりは一切ないのでご理解いただきたい。

- 会 長 実現に向けて様々な調整が必要であるのご認識いただいたかと思う。

<採決>

- 会 長 ほかにご意見なければ採決を取らせていただく。要綱第6条第3項に基づき、本日は出席が31名なので、16名以上で可決となる。

- 会 長 葛飾区地域公共交通計画素案（案）を素案として、今後の計画策定に向けて進めてよいと思う方は挙手をお願いしたい。

- 会 長 全員の賛成により可決とする。事務局から何かあるか。

- 事務局 ただいまご賛同いただいた素案については、先述のスケジュールの話と重なるが、11月中頃よりパブリックコメントを実施する予定である。その結果を受けて、最終的な地域公共交通計画の案として、次回の活性化協議会にて委員の皆様へ改めてお諮りさせていただく予定である。引き続きご協力賜りたい。

次第3 議事（2）

資料6-1、2、3 小型車両活用デマンド交通「かつライド」の実証運行について

配布資料に記載はないが、速報として、10月1日から8日までの運行7日間の利用件数は103件、1日の平均が14.7件であることを報告。

<質疑応答>

- 会 長 始まったばかりではあるが、1日平均が14.7件は目標には少し足りないけれどもまあまあという感じはする。このまま根付いてくればと思う。利用者や事業者の声を聞きながら改善すべき点を探り、目標達成できるように引き続き進めていただきたい。

次第4 その他

質問・意見なし

次第5 閉会

- 事務局 本日の配付資料は、葛飾区公式ホームページに本日以降掲載予定である。次回の協議会は3月頃を予定しており、改めてご案内する。引き続きご協力を賜りたい。